地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ

Practice I & II of Community-based Integrated Health Care System

単位数：各３単位

○廣瀬 昌博　特任教授：地域医療政策学

１．科目の教育方針

医療・介護・予防・住まい・生活支援の５つの柱からなる地域包括ケアを担う医療・介護・福祉施設及び行政での実習を通して、地域包括ケアの担い手の様々な側面を理解するとともに地域における医療・介護・福祉施設及び行政の役割と在り方を考察し、地域包括ケアの従事者として必要な知識とノウハウを修得する。

２．教育目標

一般目標　general instructional objectives

本学医学部附属病院ならびに県内の基幹病院、へき地診療所、島根県医療政策課、市町村役場、保健所、医療・介護・福祉施設等において実習を行い、地域包括ケアに関連する医療介護福祉施設ならびに県市町村等行政の現状、問題点およびその政策について学ぶ。

行動目標　specific behavioral objectives

本学医学部附属病院ならびに県内の基幹病院、へき地診療所、島根県医療政策課、市町村役場、保健所、医療・介護・福祉施設等において実習を行い、地域包括ケアに関連する医療介護福祉施設ならびに県市町村等行政の現状、問題点およびその政策について説明することができる

３．教育の方法、進め方

地域包括ケアに関連する医療介護福祉施設ならびに県、市町村等における実習

４．成績評価の方法

実習態度とレポートにより評価する。

５．使用テキスト・参考文献

１）東京大学高齢社会総合研究機構　編．地域包括ケアのすすめ
　　東京大学出版会，東京，2014

２）西村周三　監修，国立社会保障・人口問題研究所　編．地域包括ケアシステム
　　慶應義塾大学出版会，東京，2013

その他適宜参考文献を紹介する。

６．教育内容

１）地域包括ケア実習Ⅰ（１年次）

本学医学部附属病院、県内の基幹病院、へき地診療所、島根県医療政策課、市町村役場、保健所、老人保健・介護・福祉施設等において計６週間以上の実習を行い、地域包括ケアの現状、問題点およびその政策について学ぶ。

２）地域包括ケア実習II（２年次）

地域包括ケア実習Ｉで学んだことを基に、さらに県内の本学医学部附属病院以外の都市部の病院、へき地基幹病院、へき地診療所等、島根県医療政策課、市町村役場、保健所等、老人保健・介護・福祉施設等、計４週間以上の実習を行い、地域包括ケアの現状をより深く学ぶとともに、地域包括ケアに従事する多職種の役割と職種間の連携の必要性について学ぶ。さらに、地域包括ケアの従事者あるいは県市町村等の担当者として働く際のノウハウについて修得を目指す。実習は、地域包括ケア実習Ｉ以外の施設で実施する。

７．教育内容（実習）

実習の詳細については別途配付する

１年次実習　　計６週間以上

実習内容	期間
島根大学医学部附属病院[1)]	２週間以上
地域医療機関[2)]	２週間以上
地域保健・福祉・厚生行政[3)]	２週間以上

１）各診療科、卒後臨床研修センター、地域医療教育研修センター、病院医学教育センター（医療安全管理部、感染制御部）、看護部、検査部、放射線部、薬剤部、リハビリテーション部、医療サービス課、患者相談窓口、院内保育所、ワークライフバランス支援室等

２）病院実習（県立中央病院地域医療部またはへき地基幹病院）、診療所実習（へき地診療所）等

３）地域市町村役場・保健所、医療政策課等の保健・福祉・厚生行政実習等、老人保健・介護・福祉施設等実習等

２年次実習　　計４週間以上

実習内容	期間
都市部医療機関[4)]	１週間以上
地域医療機関[5)]	１週間以上
地域保健・福祉・厚生行政[6)]	２週間以上

４）島根大学医学部附属病院以外の病院各診療科、看護部、検査部、放射線部、薬剤部、リハビリテーション部、医療サービス課、医療安全管理部、感染制御部、患者相談窓口、院内保育所、ワークライフバランス支援室等

５）１年次実習先以外で実習。病院実習：へき地基幹病院等、診療所実習：へき地診療所等

６）１年次実習先以外で実習。地域市町村役場・保健所、医療政策課等の保健・福祉・厚生行政実習、老人保健・介護・福祉施設等